

会計王 かんたん導入てびき

◆導入の流れ◆

①IB 連携オプションをインストールします



②利用登録をします



③口座情報を登録します



④入出金明細を取り込みます

<便利機能紹介>

「摘要科目辞書」の登録でかんたん仕訳登録！

◆はじめにお読みください◆

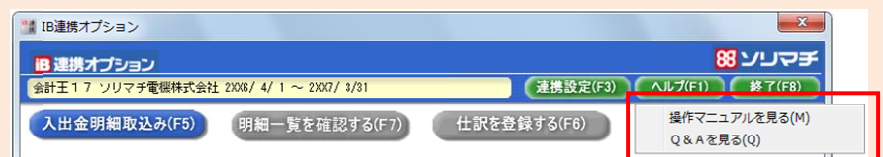
本製品の使用に際しましては、以下の点にご注意ください。

- ・本システムをインストール/アンインストール/運用する際は、コンピューターの管理者権限を有するユーザーでログインする必要があります。
- ・本てびきの内容は、本製品の操作に関する内容が中心になります。
- ・本てびきは一部を除き、Windows7での画面および操作を基準としております。
- ・本てびきは会計王 17での画面および操作を基準としております。
- ・本てびきで使用しております画面などは開発中のものですので、変更される場合があります。
- ・本てびきの画面上で使用しておりますデータは架空のデータです。

◆既に本製品をご利用中の方へ◆

本製品の「オンラインアップデート(②-2)」より最新のプログラムを取得し、引き続きご利用ください。

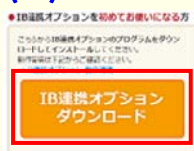
その他詳しい操作内容については、製品右上の[ヘルプ]-[操作マニュアルを見る][Q&Aを見る]もあわせてご参照ください。



1 IB連携オプションをインストールします

- ①<http://www.sorimachi.co.jp/lp-ibop/?from=nr160418ibop>にアクセスし、[IB連携オプションのダウンロード]ボタン(ア)をクリックします。画面下部に(イ)の画面が表示されたら[実行]ボタンをクリックします。

(ア)



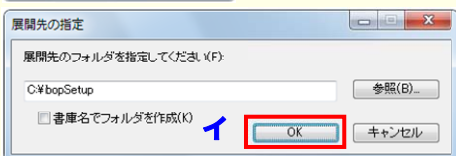
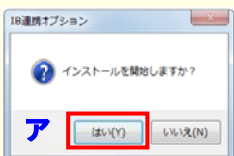
(イ)



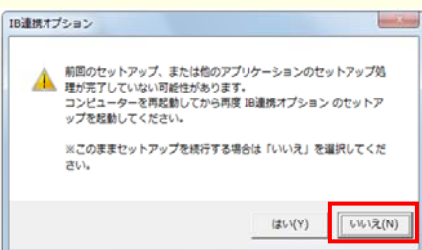
- ②「ユーザーアカウント制御」画面が表示される場合は、[はい](または[続行])ボタンをクリックします。



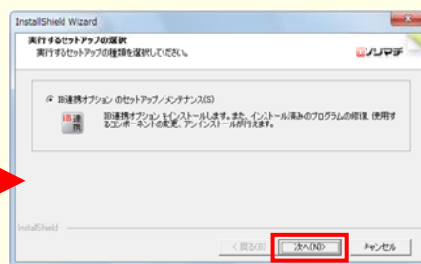
- ③図：アの画面が表示されたら[はい]ボタンを、図：イの画面が表示されたら[OK]ボタンをクリックします。



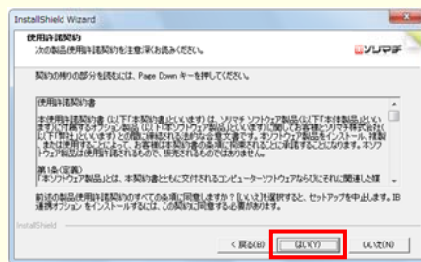
- ※下のメッセージが表示される場合は「いいえ」ボタンをクリックします。



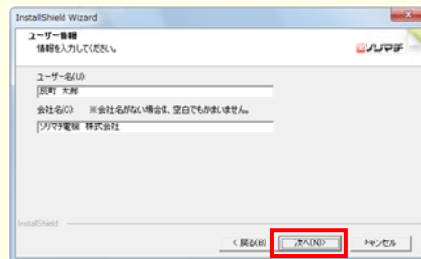
- ④「次へ」ボタンをクリックします。



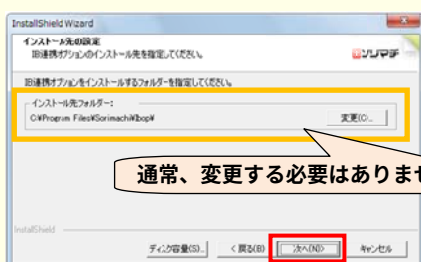
- ⑤使用許諾契約を確認したら、「はい」ボタンをクリックします。



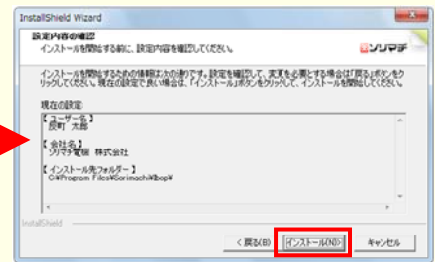
- ⑥「ユーザー名」「会社名」を入力し、「次へ」ボタンをクリックします。
※会社名がない場合は、「会社名」は空白で構いません。



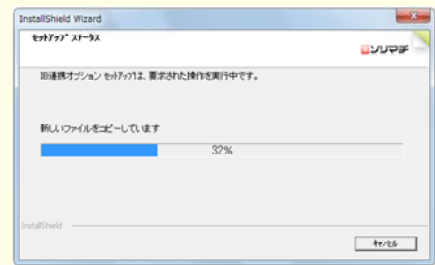
- ⑦「次へ」ボタンをクリックします。



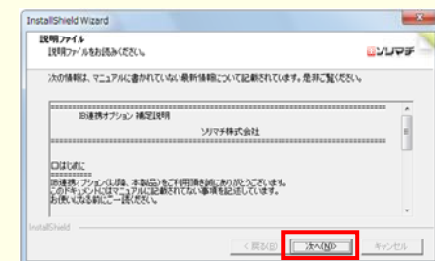
- ⑧設定内容を確認したら、「インストール」ボタンをクリックすると、インストールが開始されます。



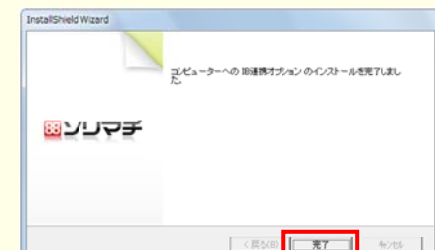
- ※IB連携オプションのインストールが始まります。そのまましばらくお待ちください。



- ⑨「説明ファイル」画面が表示されます。内容をお読みの上、「次へ」をクリックします。



- ⑩この画面が表示されたらインストールは完了です。「完了」ボタンをクリックします。



2 利用登録をします

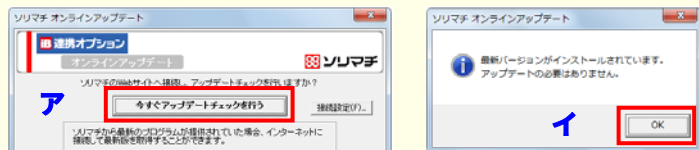
インターネットバンキングサービスにログインするための「利用登録」を行います。

- 1 デスクトップ上に作成された「IB 連携オプション」の起動アイコンをダブルクリックし、製品を起動します。

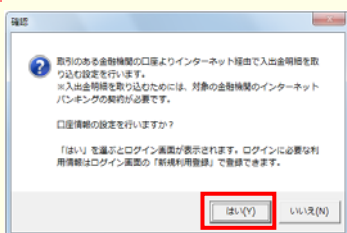


- 2 [オンラインアップデート]画面(図：ア)が表示された場合は [今すぐアップデートチェックを行う] ボタンをクリックし、画面の指示に従ってインストールします。

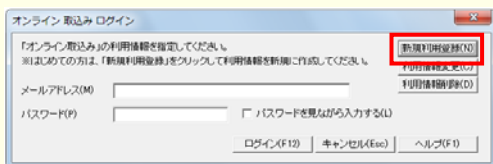
※「最新のバージョンがインストールされています。」(図：イ)が表示される場合は、[OK]をクリックし、手順3へお進みください。



- 3 [確認]画面が表示されます。[はい] ボタンをクリックします。



- 4 [オンライン 取込み ログイン]画面が表示されます。[新規利用登録]ボタンをクリックします。



- 5 [パスワードを見ながら入力する]にチェックを付け[メールアドレス][パスワード]を入力後、画面下の [登録] をクリックします。

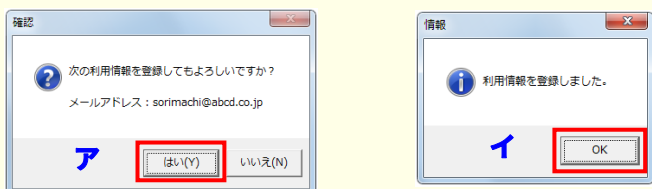


メールアドレス：
普段ご利用のメールアドレスを設定します。
[使用可能文字]
「半角英数字」「@ (アットマーク)」「. (ドット)」「- (ハイフン)」「_ (下線)」

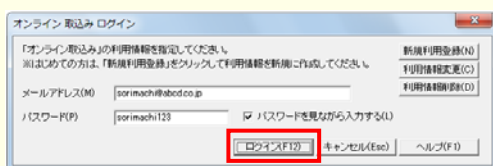
パスワード：
8～15文字の「半角英数字」で設定します。

パスワード確認：
パスワードに設定した文字列を再入力します。

- 6 [確認]画面(図：ア)が表示されます。設定したメールアドレスが表示されていることを確認し [はい] ボタンをクリックします。
[情報]画面(図：イ)が表示されたら、利用者登録は完了です。
[OK]ボタンをクリックします。



- 7 [オンライン 取込み ログイン]画面に戻ります。手順5で設定した「メールアドレス」と「パスワード」が設定されていることを確認し、画面下の[ログイン]ボタンをクリックします。

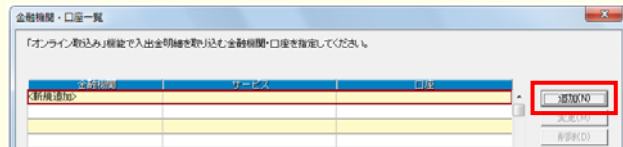


利用登録が完了したら、引き続き「③口座情報を登録します」へお進みください。

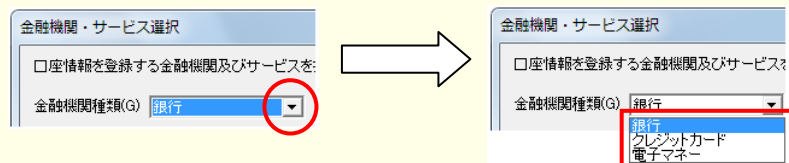
3 口座情報を登録します

IB 連携オプションに入出金明細を取り込むインターネットバンキングの口座と認証情報を登録します。

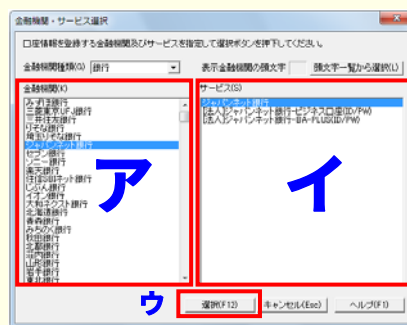
- 1 「金融機関・口座一覧」画面では取引金融機関の設定をします。画面右上の[追加]ボタンをクリックまたは、<新規追加>行をダブルクリックします。



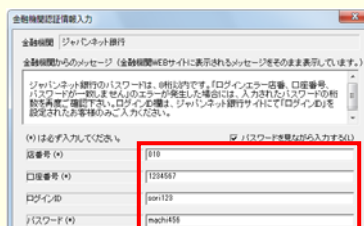
- 2 「金融機関種類」の▼をクリックし、明細を取得する金融機関の種類を選択します。



- 3 明細を取得する「金融機関(図：ア)」と「サービス(図：イ)」名を選択し、画面下の[選択]ボタンをクリックします(図：ウ)。

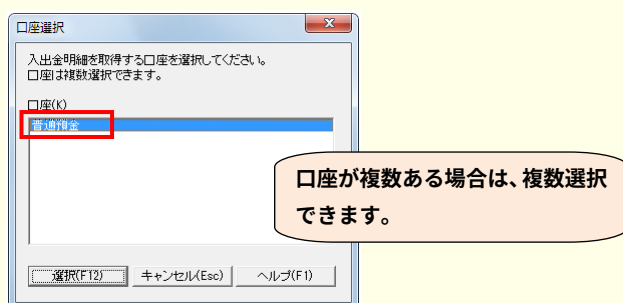


- 4 取引金融機関ごとに定められた認証情報を「金融機関認証情報入力」へ入力後、画面下の[設定]ボタンをクリックします。

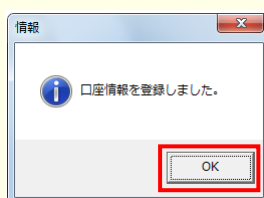


※選択した取引金融機関ごとに設定する認証情報内容は異なります。

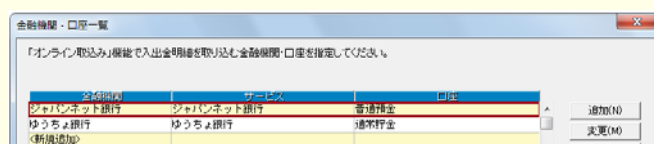
- 5 入出金明細を取得する口座を選択し、画面左下の[選択]ボタンをクリックします。



- 6 「口座情報を登録しました。」のメッセージが表示されたら[OK]ボタンをクリックします。



- 7 明細を取得する取引金融機関が複数ある場合は、上記1～6を繰り返し行います。
登録が完了したら画面下の[閉じる]ボタンをクリックします。



口座情報の登録が完了したら、引き続き「④入出金明細を取り込みます」へお進みください。

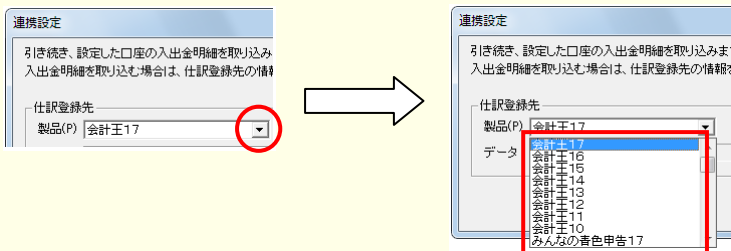
4 入出金明細を取り込みます

「③口座情報を登録します」で登録した取引金融機関より、指定した期間の入出金明細をIB連携オプションへ一括で取り込み、会計製品へ仕訳登録します。

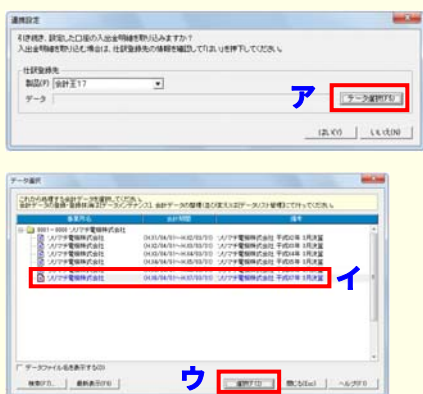
※入出金明細は金融機関によって照会期間の制約がある場合があります、その期間を超えてしまった明細は取り込めませんので、定期的(1ヶ月に1回程度)の割合で、入出金明細を照会し、会計製品への登録をお勧め致します。

1 「連携設定」画面では入出金明細を取り込む会計データを選択します。

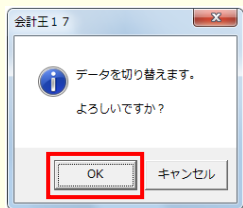
「製品」の▼をクリックし、対象製品を選択します。



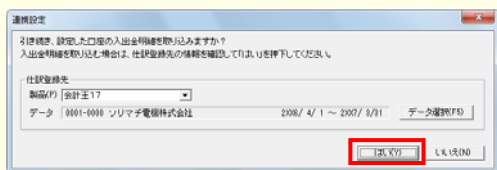
2 [データ選択]ボタンをクリック(図：ア)し、取り込み対象データを選択(図：イ)後、画面下の[選択]ボタンをクリックします(図：ウ)。



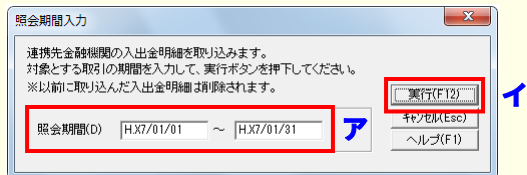
3 メッセージが表示されますので[OK]ボタンをクリックします。



4 取り込み対象データが表示されていることを確認し、画面下の[はい]ボタンをクリックします。



5 設定した取引口座の入出金明細をまとめて取り込みます。取り込み対象期間を[照会期間]へ入力(図：ア)し、[実行]ボタンをクリックします(図：イ)。



6 選択した取り込み期間に該当する取引内容が画面に表示されます。内容を確認し、画面右の[取込実行]ボタンをクリックします。



7 メイン画面が表示されます。取り込んだインターネットバンキングサービス側の勘定科目を「金融機関側科目」欄に指定します。

※選択した勘定科目が補助科目管理している場合は「補助科目」を、部門管理をしている場合は「部門」もあわせて選択します。



※明細を取得する取引金融機関が複数ある場合は、「入出金明細取り込み(④-6)」画面またはメイン画面の「金融機関・口座」の▼より取引金融機関を切り替えてご覧いただけます。



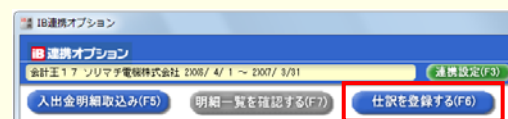
8 入出金明細ごとに相手科目に該当する「勘定科目」「補助科目」「部門」「摘要」を選択します。ここで設定した「勘定科目」「補助科目」「部門」「摘要」を使用し、会計製品へ仕訳として取り込まれます。



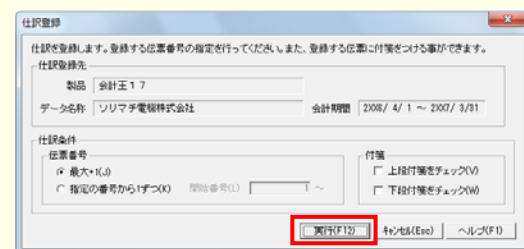
9 仕訳として取り込む入出金明細は「選択」欄にチェックを付けます。※取り込み不要な入出金明細は「選択」欄のチェックを外します。

<仕訳として取り込む場合>			<仕訳として取り込まない場合>		
選択	年月日	取引内容	選択	年月日	取引内容
☒	H.X7/01/10	カード払い	☐	H.X7/01/10	カード払い
検索未登録			検索未登録		

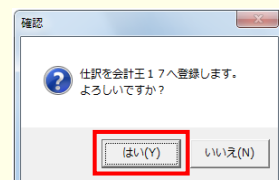
10 「仕訳を登録する」をクリックします。



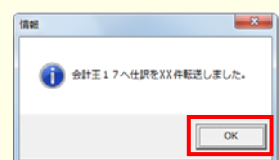
11 「仕訳登録先」「仕訳条件」を確認し[実行]ボタンをクリックします。



12 確認メッセージが表示されます。[はい]をクリックすると会計製品へ仕訳が登録されます。



13 「情報」画面が表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。



IB連携オプションを終了し、会計製品に入出金明細が登録されていることを確認します。

《次回利用時の動作について》

次回入出金明細を取り込む場合は、下記の手順で行います。

- ① I B連携オプションを起動後、メイン画面左上の[入出金明細取込み]ボタンをクリックします。
- ②「オンライン 取込み ログイン」画面より「ログイン」します。
- ③「照会期間入力(④- 5)」画面が表示されます。取り込み対象期間を[照会期間]へ入力し入出金明細を取り込みます。
- ④会計製品へ仕訳を登録します。

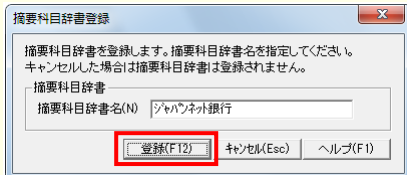
＜便利機能紹介＞ 「摘要科目辞書」の登録でかんたん仕訳登録！

よく使う取引内容とそれに関連する勘定科目等をあらかじめ「摘要科目辞書」として登録しておくことで、次回から入出金明細を取り込む際に取引内容に該当する勘定科目等を「摘要科目辞書」からマッチングし、自動的に設定することができます。

- 1 インターネットバンキングサービス等から入出金明細を取り込み、[使用摘要科目辞書設定]ボタンをクリックします。



- 2 「摘要科目辞書名」にインターネットバンキングサービス名等、摘要科目辞書名を全角10文字以内で設定し[登録]ボタンをクリックします。



- 3 「青字」で表示されている取引内容について「検索方法」「入出金」「勘定科目」「補助科目」「部門」等を設定します。
※「青字」の取引内容は「摘要登録候補」です。

辞書項目設定	取引内容	検索方法	入出金	勘定科目	補助科目	部門	(%)	摘要(上段)	摘要(下段)	操作
お預かり	完全一致	入金					☒	[入出金明細の取引内容]	登録	
カード払い	完全一致	出金					☒	[入出金明細の取引内容]	登録	
ガス料金	完全一致	出金					☒	[入出金明細の取引内容]	登録	
携帯電話・通話料	完全一致	出金					☒	[入出金明細の取引内容]	登録	
水道料金	完全一致	出金					☒	[入出金明細の取引内容]	登録	
電気料金	完全一致	出金					☒	[入出金明細の取引内容]	登録	

- (ア) 取引内容ごとに摘要科目辞書のマッチング方法を「検索方法」に設定します。



完全一致：

「摘要科目辞書設定」の「取引内容」に登録されている文字列と完全一致する入出金明細がある場合、指定した「勘定科目」「補助科目」「部門」を自動設定します。

部分一致：

「摘要科目辞書設定」の「取引内容」に登録されている文字列が含まれる入出金明細がある場合、指定した「勘定科目」「補助科目」「部門」を自動設定します。

- (イ) 取引内容ごとにその取引の「入出金」状況を設定します。



入出金：

その取引が「入金」「出金」両方で使用される場合に選択します。

入金：

その取引が「入金のみ」の取引で使用される場合に選択します。

出金：

その取引が「出金のみ」の取引で使用される場合に選択します。

- (ウ) 取引内容ごとに、「検索方法」「入出金」で設定した内容に合致した場合、どの科目を設定するのかを「勘定科目」「補助科目」「部門」に設定します。

勘定科目	部 門
通 信 費	東京営業所

- (エ) 会計製品に登録する際の「摘要文」を指定します。

金融機関からの入出金明細の「取引内容」の文字列をそのまま仕訳の摘要文として使用する場合はチェックを付けたままにします。

取引内容	検索方法	入出金	勘定科目	部 門	(%)	摘要(上段)	摘要(下段)	操作
NKK受付料	部分一致	出金	通 信 費	共通部門	☒	[入出金明細の取引内容]	登録	

任意の文字列を仕訳の摘要として使用する場合はチェックを外し、任意の文字列を全角10文字以内で設定することができます。

取引内容	検索方法	入出金	勘定科目	部 門	(%)	摘要(上段)	摘要(下段)	操作
NKK受付料	部分一致	出金	通 信 費	共通部門	☐	NKK受付料 双月分	登録	

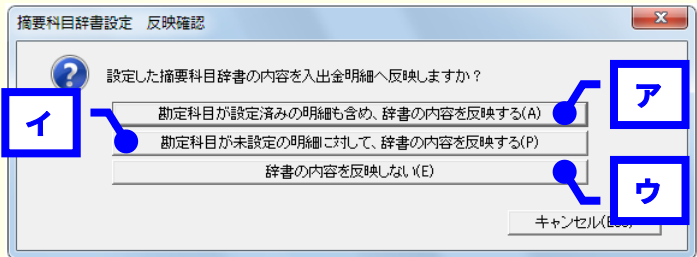
- (オ) 特定の辞書項目に一致した入出金明細を会計製品に仕訳として登録したくない場合は、「操作」の▼をクリックし「除外」を選択することで、会計製品へ仕訳として登録される対象から除外することができます。



事業用の通帳から家計用の支払いが含まれている場合で、家計用の取引内容については会計製品に仕訳を登録しない場合、「除外」を選択します。

※「除外」を選択した「取引内容」については会計製品へ仕訳を登録しないため、通帳残高と会計製品の口座科目の残高は一致しなくなりますので、ご注意ください。

- 4 画面下の[閉じる]ボタンをクリックすると、「摘要科目辞書設定反映確認」画面が表示されます。



- (ア) [勘定科目が設定済みの明細も含め、辞書の内容を反映する]

メイン画面で既に取引内容に該当する勘定科目を設定してある場合も再度マッチングを行い、取引内容が一致する辞書の内容に自動設定し直します。

辞書項目設定	取引内容	検索方法	入出金	勘定科目	補助科目	部門	(%)	摘要(上段)	摘要(下段)	操作
ガス料金	完全一致	出金	水道光熱費	共通部門		☒	[入出金明細の取引内容]	登録		
電気料金	完全一致	出金	水道光熱費	共通部門		☒	[入出金明細の取引内容]	登録		

一致 ▲摘要科目辞書設定画面

入出金明細										登録済明細一括選択(S)	登録済明細一括選択解除(R)	挿入(F2)
選択	年月日	取引内容	出金金額	入金金額	勘定科目	補助科目	部 門	摘要(上段)	摘要(下段)			
✓	H.XX/01/25	電気料金	8,360		水道光熱費	共通部門		電気料金				
✓	H.XX/01/25	ガス料金	6,890		水道光熱費	共通部門		ガス料金				

摘要科目辞書設定で設定した「勘定科目」「補助科目」「部門」「摘要」が設定されます。

- (イ) [勘定科目が未設定の明細に対して、辞書の内容を反映する]

メイン画面の入出金明細の内、勘定科目が設定されていない明細を対象に、取引内容が一致した辞書の内容を反映(自動設定)します。

入出金明細										登録済明細一括選択(S)	登録済明細一括選択解除(R)	挿入(F2)
選択	年月日	取引内容	出金金額	入金金額	勘定科目	補助科目	部 門	摘要(上段)	摘要(下段)			
✓	H.XX/01/25	電気料金	8,360		水道光熱費	共通部門		電気料金				
✓	H.XX/01/25	ガス料金	6,890									

勘定科目が設定されていない入出金明細を対象にマッチング

辞書項目設定										一致	▲摘要科目辞書設定画面
取引内容	検索方法	入出金	勘定科目	補助科目	部門	(%)	摘要(上段)	摘要(下段)	操作		
ガス料金	完全一致	出金	水道光熱費	共通部門		☒	[入出金明細の取引内容]	登録			
電気料金	完全一致	出金	水道光熱費	共通部門		☒	[入出金明細の取引内容]	登録			

一致 ▲摘要科目辞書設定画面

入出金明細										登録済明細一括選択(S)	登録済明細一括選択解除(R)	挿入(F2)
選択	年月日	取引内容	出金金額	入金金額	勘定科目	補助科目	部 門	摘要(上段)	摘要(下段)			
✓	H.XX/01/25	電気料金	8,360		水道光熱費	共通部門		電気料金				
✓	H.XX/01/25	ガス料金	6,890		水道光熱費	共通部門		ガス料金				

摘要科目辞書設定で設定した「勘定科目」「補助科目」「部門」「摘要」が設定されます。

- (ウ) [辞書の内容を反映しない]

設定した「摘要科目辞書設定」の内容だけを更新し、メイン画面の入出金明細とのマッチングを行いません。